

「短期大学生調査」から見る経営実務科 24 年度生の卒業時満足度調査結果

1. 調査の方法

調査日：2025 年 11 月 1 日～11 月 30 日

対象：2025 年度経営実務科卒業年次生（24 年度生）

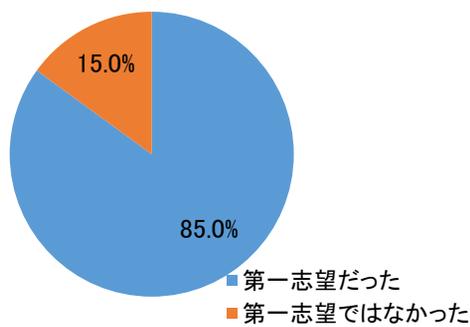
標本サイズ：悉皆

調査方法：大学・短期大学基準協会主催「短期大学生調査」の Web 調査に参加（記名）

回収率：83%

2. 調査結果の一部抜粋

1. 本学はあなたの第一志望でしたか。



コメント：85%が「本学が第1志望だった」と回答した。

2. あなたはどのような入学試験を受けて、本学に入学しましたか。

	総合型選抜	学校推薦型選抜(指定校制)	学校推薦型選抜(公募制)	一般選抜(大学入学共通テスト利用入試も含む)	社会人選抜	外国人留学生選抜	その他	合計
n	4	11	1	0	0	2	2	20
%	20.0%	55.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	100.0%

3. あなたは将来的に、どの程度まで進学を考えていますか。

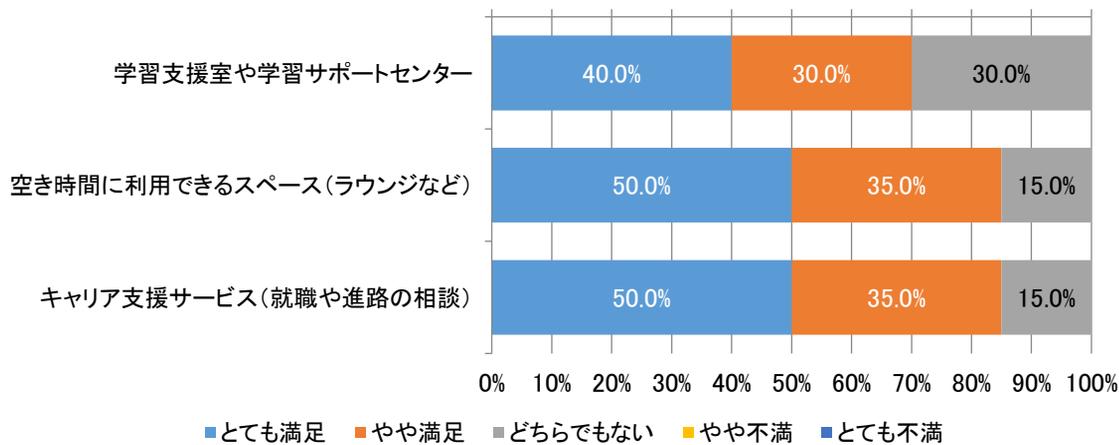
	進学することを考えていない(短期大学を卒業する)	短期大学の専攻科に進学する	4年制大学に進学(編入)する	大学院に進学する	専門学校に入学する	その他	合計
n	17	0	3	0	0	0	20
%	85.0%	0.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

4. あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。

		よくあった	ときどきあった	あまりなかった	まったくなかった	合計
人前で発表をする(プレゼンテーション)	n	11	8	1	0	20
	%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	100.0%
グループワークや話し合いをする(ディスカッション)	n	10	8	2	0	20
	%	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	100.0%
正解や答えのない問題や課題について考える	n	6	9	5	0	20
	%	30.0%	45.0%	25.0%	0.0%	100.0%
レポートの書き方や文章表現を学ぶ	n	10	9	1	0	20
	%	50.0%	45.0%	5.0%	0.0%	100.0%
体験的な学習(実習、実験、フィールドワーク)に取り組む	n	11	6	3	0	20
	%	55.0%	30.0%	15.0%	0.0%	100.0%
これからのキャリアやライフデザイン、働き方について学ぶ(インターンシップを含む)	n	13	7	0	0	20
	%	65.0%	35.0%	0.0%	0.0%	100.0%
パソコンやタブレットなどの情報機器を使う	n	11	8	1	0	20
	%	55.0%	40.0%	5.0%	0.0%	100.0%

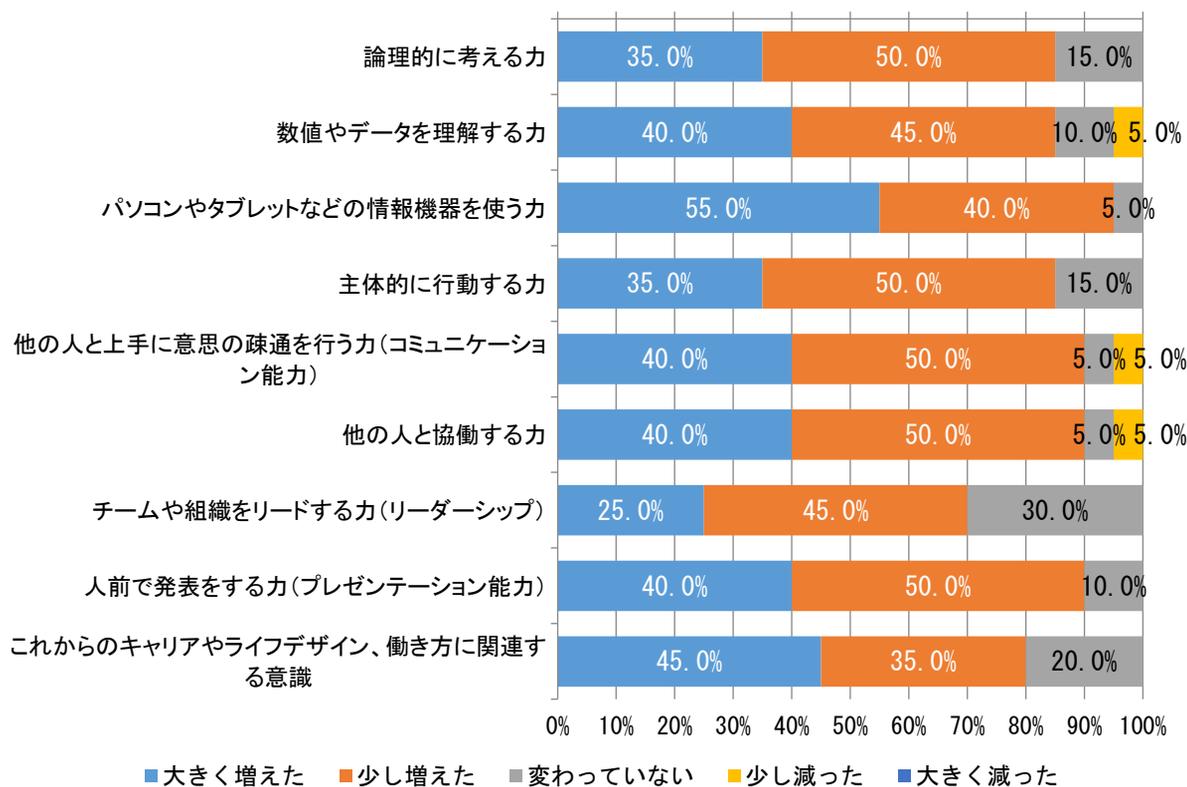
コメント：本学の授業では、「人前で発表をする(プレゼンテーション)」、「グループワークや話し合いをする(ディスカッション)」、「レポートの書き方や文章表現を学ぶ」、「体験的な学習(実習、実験、フィールドワーク)に取り組む」、「これからのキャリアやライフデザイン、働き方について学ぶ(インターンシップを含む)」、「パソコンやタブレットなどの情報機器を使う」といった学習活動について、多くの学生が「よくあった/ときどきあった」と回答している。特に「キャリア」に関しては全員が経験しており、プレゼンテーション、レポート作成、情報機器の活用も高い割合で実施されていることがうかがえる。一方、「正解や答えのない問題や課題について考える」は他項目と比べて「よくあった」の割合が低い結果となった。

5. あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。



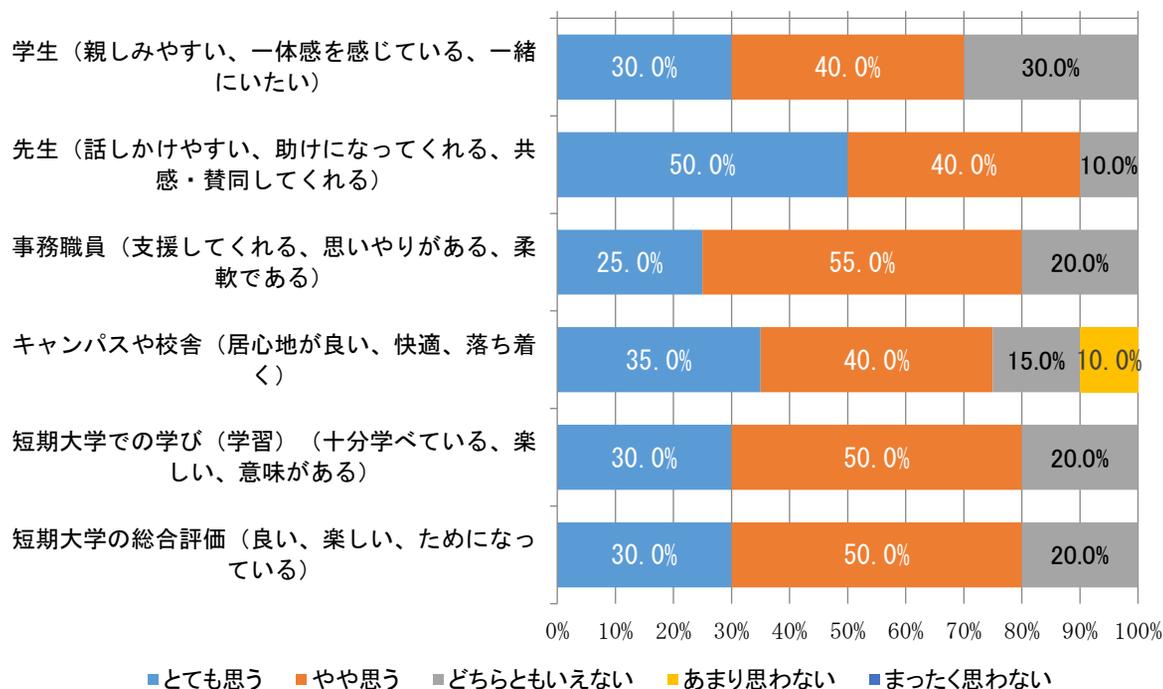
コメント：本学の施設・設備、サービスに対する満足度について、「空き時間に利用できるスペース（ラウンジなど）」および「キャリア支援サービス（就職や進路の相談）」では、いずれも85%が「とても満足」または「やや満足」と回答しており、学生から高い評価を得ている。また、「学習支援室や学習サポートセンター」についても70%が肯定的に回答した。一方で同項目は「どちらでもない」が30%と相対的に高く、利用機会の拡充や周知を工夫することにより、満足度のさらなる向上が期待される。

6. 今の短大に入学して、あなたの能力や知識はどの程度変化（向上）しましたか。



コメント：入学後の能力・知識の変化について、全項目で「大きく減った」は見られず、総じて向上を実感している学生が多いことが分かった。特に「パソコンやタブレットなどの情報機器を使う力」は95%が「大きく増えた/少し増えた」と回答しており、ICT活用能力の伸長が顕著である。また、「人前で発表をする力（プレゼンテーション能力）」、「コミュニケーション能力」、「他の人と協働する力」でも9割が増加したと回答しており、学習を通じた表現力や対人関係力の向上がうかがえる。一方、「チームや組織をリードする力（リーダーシップ）」は「変わっていない」が30%と相対的に高い結果となった。

7. 短大での学び（学習）



コメント：短期大学に対する学生の評価は全体として肯定的であり、各項目で「とても思う/やや思う」が多数を占めた。特に「先生」は肯定的回答が90%と最も高く、相談・支援のしやすさが本学の強みとしてうかがえる。「事務職員」および「短期大学での学び」、「総合評価」も肯定的回答が80%で、学習環境や支援体制に対する評価は概ね良好である。一方、「学生同士の関係」は肯定的回答が70%で「どちらともいえない」も30%見られ、学生のつながりや一体感の実感にはばらつきがあるようだ。また、「キャンパスや校舎」は肯定的回答が75%であるものの「あまり思わない（10%）」が見られた。